

## はじめに

「健康日本21 ちた計画」の第1次計画策定から早10年が経過しました。

その間、わが国の平均寿命は、右肩上がりが続けていますが、同時に医療費も上がり続けています。全国の医療費は9年連続で増となり、平成23年度は過去最高を更新しました。厚生労働省は、これについて高齢化と医療の高度化による治療費の増と分析しています。

本市の高齢化率も第1次計画を策定した平成14年度では13.7%でしたが、平成23年度には21.3%となり「超高齢社会」に突入しました。国民健康保険加入者の一人当たり医療費も年々増加しています。少子高齢化の急激な進行とともに、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病の増加、それに伴う認知症や寝たきり等の要介護者の増加は、現在、喫緊の課題となっています。

こうした中、生活習慣病予防や社会生活を営むために必要な機能の維持・向上等により、「健康寿命」を延伸させることが極めて重要です。

第2次計画では、「みんなが共に支え合い、健やかで心豊かに生活できる活力あるまち」を目指しています。「㊟ちゃんと受けよう健診（検診）いろいろ」と「㊟だしい生活習慣を末永く」の2つをスローガンに、個人の健康づくりを支えるための環境の整備を関係団体の方々とともに地域ぐるみで取り組んでまいります。

最後に、この計画の策定にあたりご提言・ご助言・資料提供をいただきました方々に心より感謝とお礼を申し上げるとともに、計画の実現に向けて、皆さま方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

平成25年3月

知多市長 加藤 功